



NSPV7000シリーズ

取扱説明書

8/16チャンネル共通

VER 1.0 NSS



- この度は、ネットワーク・ビデオ・レコーダーをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この装置・取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解いただいた上で、正しくご使用されますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニター・警報装置およびコンピュータを接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

安全上のご注意



注意:

本機の分解・改造をしないで下さい。感電や火災の原因となり、大変危険です。
修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談下さい。



左側のシンボルは感電の危険のある十分な電圧の存在を示します。



左側のシンボルはこの機器を使うに重要な操作や管理維持方法を示します。

注意:

この機器をぬらさないで下さい。雨や水にぬれると、発火及び感電の原因になります。

目次

免責事項	5
警告.....	5
注意.....	6
故障を防ぐために	6
規制.....	7
梱包品の確認	8
I. 各部の名称とはたらき	9
1. 前面パネル	9
2. 背面パネル	12
3. リモコン.....	13
4. マウス	14
5. マウス操作用バーチャルキーパッド.....	14
II. 設置&接続	15
1. カメラ、モニタ、音声、アラーム・センサー及び電源コード	15
2. ネットワーク接続用 PCのシステム条件	16
III. クイックスタートページ.....	17
IV. ライブ監視	19
1. 表示概要.....	19
2. 分割画面表示および画面自動切り替え	21
2.1. 全画面表示	21
2.2. 分割画面表示と画面自動切り替え	21
3. 分割画面用クイックボタン	22
3.1. 画面移動.....	22
4. ズーム	23

V. 操作	24
1. ログイン・ログアウト	24
2. メイン・メニューの概要	25
VI. 設定	26
1. 画面	26
1.1. 一般	26
1.2. 画面自動切替設定	27
1.3. イベント	28
2. カメラ	29
2.1. 情報	30
2.2. CAMERA	30
2.3. DEVICE	33
2.4. LIVE	35
3. 録画	36
3.1. 一般	36
3.2. デイ(常時録画)	37
3.3. デイ(イベント録画)	38
3.4. モーション録画	39
3.5. マルチ・イベント録画	39
3.6. ノーマル + イベント(モーション/アラーム) 録画	40
4. 予約録画	41
4.1. 予約録画設定	41
4.2. 休日設定	42
5. ディスク	43
5.1. ディスク管理	43
5.2. 録画用ディスク	44
5.3. S. M. A. R. T 情報	45
6. ネットワーク	46
6.1. LANポート及びIP CAMポート	46
6.2. 一般	47
6.3. Eメール	49
6.4. SMTP	50
6.5. DDNS (ダイナミック DNS)	51
6.6. ルーター & ポートフォワーディング	52
7. デバイス	54

7.1. 一般	54
7.2. 画面	55
7.3. アラーム	56
7.4. PTZ イベント	58
8. システム	59
8.1. 一般	59
8.2. 日時設定	60
8.3. ユーザーアカウント	61
8.4. アップデート	62
8.5. 情報	63
VII. パン/チルト/ズーム制御	64
1. P.T.Z. メニュー	64
2. プリセット & ツアー	65
3. カスタム機能	66
4. 自動パン / 自動チルト / 電源	67
5. PTZ カメラ・モデル - パン/チルト/ズーム カメラ・リスト	67
VIII. 再生/検索	68
1. 再生	68
2. 時間検索	68
2.1 複数チャンネル再生	68
2.2 プレビュー検索(1チャンネル再生)	69
2.3 イベント録画検索	70
2.4 イベントソース検索	70
2.5 モーション・エリア検索 (1チャンネル再生)	71
3. 簡単検索	72
4. ログリスト検索	72
IX. バックアップ	74
1. 手動バックアップ	74
1.1 外付けUSB HDD / メモリスティック	74
1.2 バックアップ範囲の設定	74
2. 自動バックアップ	75
3. ログリストバックアップ	76
X. 仕様	77

免責事項

- この取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい取扱説明書が発行される場合があります。
- 製品、ソフトウェア、ハード・ディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障による障害またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。

警告

- 本機の通気孔またはスロットを塞がないでください。器具の過熱防止のため、通気孔とスロットの周囲は最低 5センチ空けてください。
- スロット内に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし、入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。その後、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙や異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙等が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機に重い物を落とすなどしてケースが変形・破損した場合は直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機に水などの液体を入れないでください。本機は防水ではありません。本機に液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。本機に水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機のお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートの原因があるので避けてください。
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります。

- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は付属のACアダプターをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・加熱・装置の変形等の恐れがあります。
- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますのでバッテリーを熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、バッテリーの加熱や分解をしようとししないでください。バッテリーの液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに水で洗い流してください。また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- バッテリーに強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物でバッテリー端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属のACアダプターと電源コードはこのレコーダー専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品やバッテリーに使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。温度0～40℃、湿度90%以下でご使用ください。この装置の専用アダプター(または、電源コード)が正常動作するための電源は AC 100V～240V 50/60Hzです。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターまたは他の強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、製品の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- 製品の内部に結露が生じたことを発見した場合は直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源コードを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。

規制

FCC規定遵守：この装置はFCC規定のPart15のクラスAデジタル・デバイスの基準でテストされました。それらの基準はこの装置がコマーシャル環境で使われるとき生じる有害な障害からの保護を設けるために決められました。この装置は電波エネルギーを発生、使用するので取扱説明書に従って設置、使用されない場合は、電波通信の干渉、障害のおそれがあります。この装置の住宅街での使用はユーザー自費で直すことが要求される有害な傷害を致しやすいです。



ノート：この装置の独断の改造によるラジオ、テレビなどとの障害問題について、当社は責任を負いません。無断で改造した場合、この装置を操作するユーザーの権限が無効になる恐れがあります。

注意

- この装置に合わないバッテリーの使用は爆発の危険がありますのでご注意ください。使用済みのバッテリーは規定に従い処理してください。
- コンセントはなるべくこの装置の近くに設置し、接近しやすくしてください。

梱包品の確認

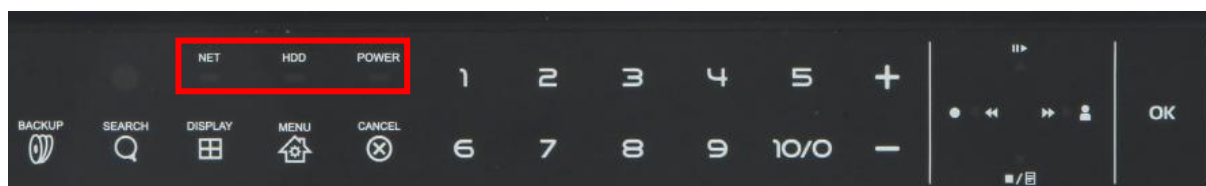
パッケージと中身に破損がないか確認して下さい。部品が足りない場合や破損している場合は直ぐにお買い求めの販売店にご連絡下さい。尚、梱包材は本機を再び輸送する時（引越しや修理）に必要となりますので、大切に保管して下さい。

品名	数量	備考
ネットワーク・ビデオ・レコーダー	1	
クライアント・ソフトウェアCD	1	
リモコン	1	
バッテリー (コイン型)	1	
電源コード	1	
取扱説明書	1	
マウス	1	

I. 各部の名称とはたらき

1. 前面パネル

1. モード・インジケータ：本機の状態を表示する3個のLEDがあります。



NET（緑）, HDD（赤）, POWER（青）

2. 再生/録画制御：この機能はライブモード又は、再生モードに使用します。

- 1) 方向ボタン：メニュー画面でカーソルを移動する時に使用します。



- 2)  [一時停止又は再生]：このボタンは再生モード際に一時停止又は、1倍速再生の際に使用します。

- 3)  [コマ戻し/早戻し]

- ① コマ戻し：このボタンは一時停止モードでコマ戻しの際に使用します。
- ② 早戻し：このボタンは再生中に早戻しの際に使用します。

- 4)  [コマ送り/早送り]

- ① コマ送り：このボタンは一時停止モードでコマ送りの際に使用します。
- ② 早送り：このボタンは再生中に早送りの際に使用します。

5)  [録画]：録画を開始したり停止する際に使用します。

6)  [停止]：再生を停止する際に使用します。

7)  [ログイン/アウト]
：ログイン/アウトする際に押します。

8)  [LOG]
：ログリストを画面上に表示する際に押します。

9)  [ENTER]
：メニュー設定値を保存する際に押します。


10) [CANCEL]
：選択した各機能を取り消すの際に押します。

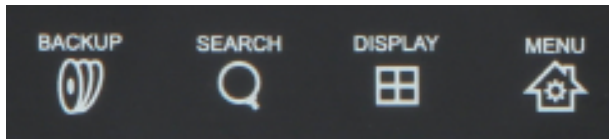
11)  
[+]：このボタンを押すと値が増加します。
[-]：このボタンを押すと値が減少します。

3. チャンネル / 数字ボタン

これらのボタンはデータを入力し、選択を行うために多くの機能を有しています。
これらのボタンは、日程で日付を選択したり、パスワードの入力、カメラチャンネルの選択、数値データの入力などに使用します。

4. 
：10以上のチャンネルを選択するにはこのボタンを押します。

5. 機能ボタン



- 1) MENU：メインメニュー画面を表示する際に押します。
- 2) BACKUP：バックアップメニューへ入る事ができます。
- 3) SEARCH：時間検索メニューが表示されます。
- 4) DISPLAY：監視画面を分割表示します。



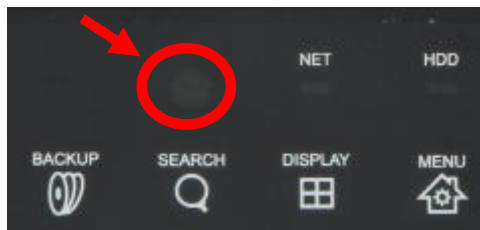
6. USB ポート:



：マウスやバックアップ用USBメモリーを接続できます。

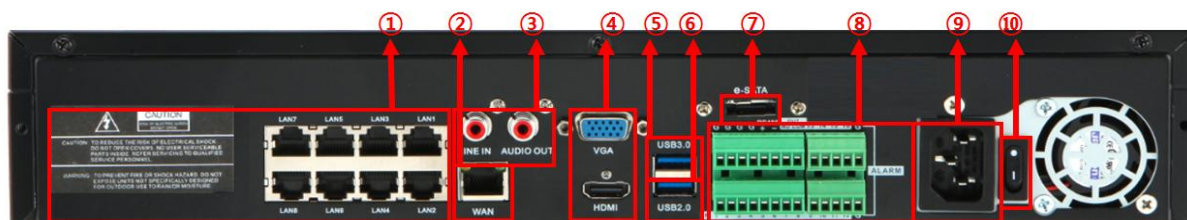
7. リモコン受信部：

：リモコンから受信部が見える必要があるので、受信部を塞がないでください。

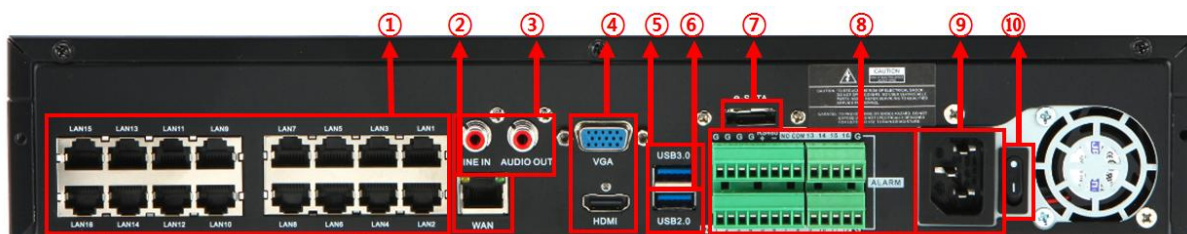


2. 背面パネル

<8ch>



<16ch>



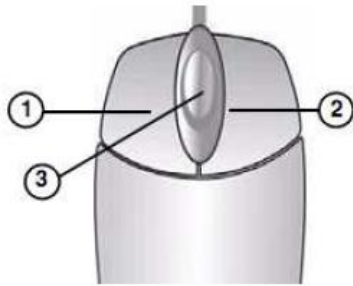
- 1) PoE カメラ入力端子：PoE別 IPカメラ信号入力端子
- 2) WANポート：RJ45方式の 10/100/1000 BASE-T イーサネットポート
- 3) 音声入出力端子：RCA方式のモノ音声入力及び出力端子
- 4) HDMI、VGA出力端子：HDMI及び VGA映像出力端子
- 5) USB 端子：USB装置との接続端子 (3.0 対応)
- 6) USB 端子：USB装置との接続端子 (2.0 対応)
- 7) e-SATA：e-SATA 装置連結端子
- 8) ターミナルブロック：RS422通信及びアラーム入出力のためのターミナルブロック
- 9) 電源：付属の ACコードを接続してください。
- 10) 電源スイッチ：電源オフ後、電源スイッチを切ってください。

3. リモコン



4. マウス

操作及び制御のためにマウスを使います。マウスは製品の前・背面 USB 端子を通じて連結出来ます。



1) 左クリック - 分割画面でダブルクリックすると、1画面表示に切り替わります。また、1画面でダブルクリックすると分割画面に戻ります。

また、シングルクリックでメニューを選択したり、変更する時に左クリックを使用します。

2) 右クリック - シングルクリックでメニュー画面が表示されます。

3) マウスホイール：選択されたメニュー値の増加/減少の選択が出来ます。.

5. マウス操作バーチャルキーパッド

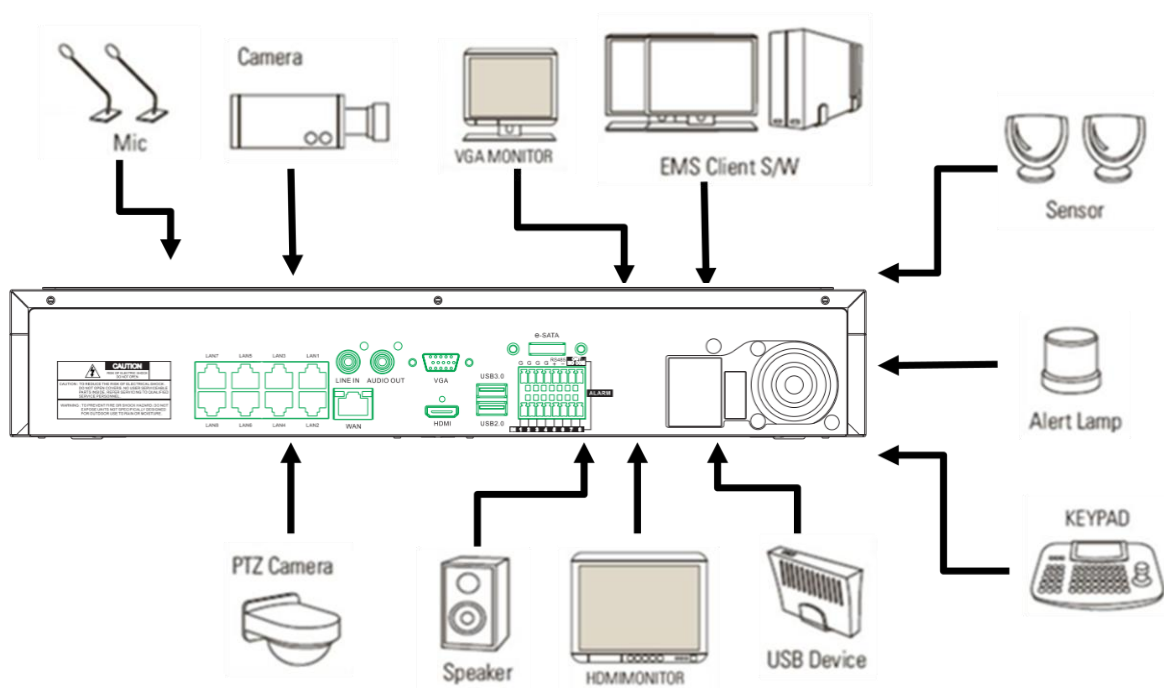
本機は、マウスで制御可能なオン・スクリーンバーチャルキーパッドを提供します。使用前にUSBポートにマウスを接続してください。ライブモードや再生モードでマウスの右ボタンをクリックすると下のようにバーチャルキーボードが表示されます。下のバーチャルキーパッドは実行されているタスクによってそれぞれ違う位置、ボタンで表示されます。



＜ バーチャルキーパッド画面 ＞

II. 設置&接続

1. カメラ、モニタ、音声、アラーム・センサー及び電源コード



2. ネットワーク接続用 PCのシステム条件

	最低	推奨
OS	Windows XP SP3 以上	Windows 7以上
CPU	Core2 Duo	I5
RAM	2G	4G
VGA	PCI-E 256M	PCI-E 512M
DirectX	DX9.0 サポート	DX9.0 サポート
ネットワーク	100M ETHERNET LAN	100M ETHERNET LAN
HDD	100G	500G

<おことわり>

NVRの接続と遠隔監視はPCのインターネット接続設定にも依存します。 本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

III. クイックスタートページ



管理者の初期パスワードは“000000”です。



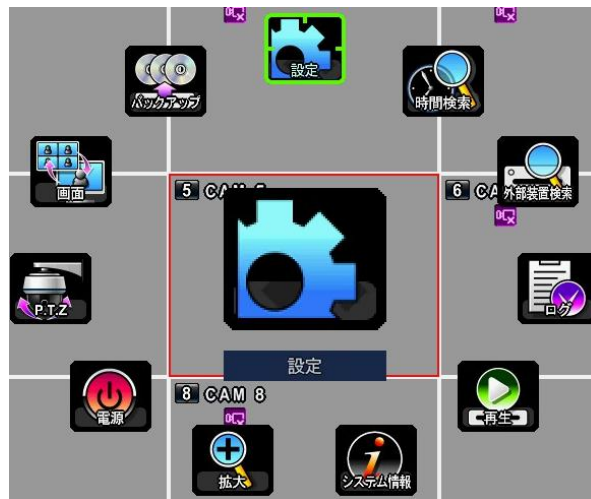
EMS2 ソフトウェアのユーザーIDとパスワードの初期設定は下の通りです。

ユーザーID : 「**admin**」

パスワード : 「**0**」

初期メニュー

最初メニューボタンを押すと初期メニュー画面が表示されます。各アイコンを選択し詳細設定メニュー、時間検索、外部装置検索、ログ、再生、情報、ズーム、電源、PTZカメラ制御、分割画面、バックアップメニューへ入ります。



日付と時刻の設定

はじめてNVRの電源を入れたとき、日時の初期設定は 2000年1月1日、木曜日、01:00:00 にセットされます。 NVRをご使用になる前に日時を設定することが重要です。



IV. ライブ監視

1. 表示概要



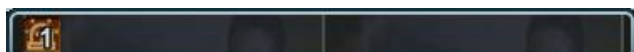
1.1. 録画モード

録画状態によってチャンネル番号の背景色は異なります。

- 1) 赤 - イベント(モーション/アラーム) 録画中
- 2) 黄 - 連続録画中
- 3) 黒 - 録画していない

1.2. イベントインジケータ

- (1) アラーム・センサーによって、アラーム入力端子がトリガされたことを示します。



アラーム・ウィンドウを見せるにはリモコンの[上]ボタンを押します。

このボタンでアラーム・ウィンドウを見せたり隠したりできます。

- (2) モーション感知を示します。 [キャンセル] ボタンを押すと消えます。

- (3) 録画中のビデオロスを示します。 [キャンセル] ボタンを押すと消えます。

1.3. ステータスバー

(1) (2) (3) (4) (5)(6)(7)



- (1) 録画状態を示します。録画中には赤色に変化します。
アイコンをクリックし録画開始、停止します。
- (2) 再生状態を示します。再生中には緑色に変化します。
アイコンをクリックし再生、停止します。
- (3) アイコンをクリックしメニュー、ログ画面を消します。
- (4) ログリストを表示させます。
- (5) ログイン状態を示します。() A : 管理者、U : ユーザー
- (6) 音声録音中には青色に変化します。
- (7) ネットワーク経由のアクセス数を表示します。 .

2016/03/10 木 12:14:41 : 日付、時刻を表示します。 .



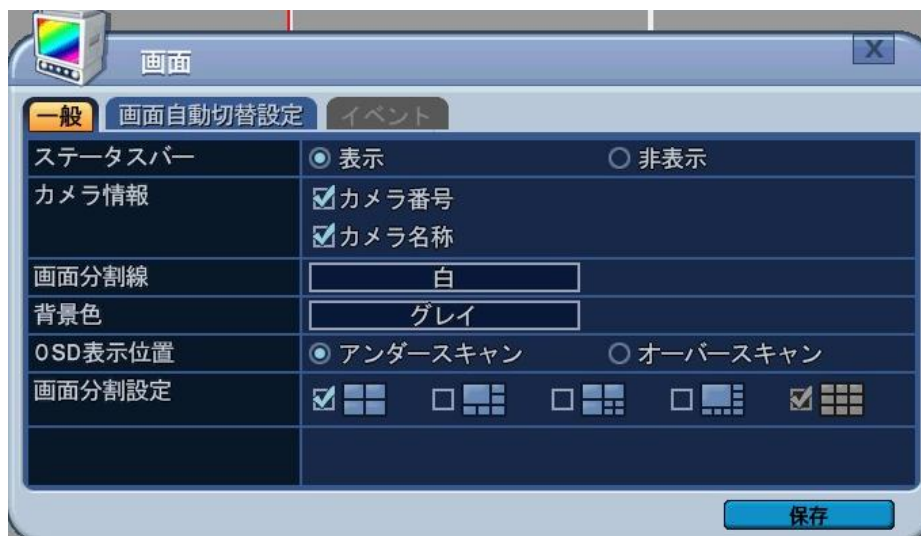
- (8) USBデバイスが検知されるとアイコンが白色に変化します。
- (9) HDD容量を表示します。空き容量が5GB未満の場合、リサイクルアイコンが表示されます。
- (10) 録画可能日数の目安を示します。設定が変わると可能時間も変化します。

2. 分割画面表示および画面自動切り替え

2.1. 全画面表示

1 画面をアップで全画面表示したい場合は、希望するカメラ番号に対応する数字ボタンを押します。

2.2. 分割画面表示と画面自動切り替え



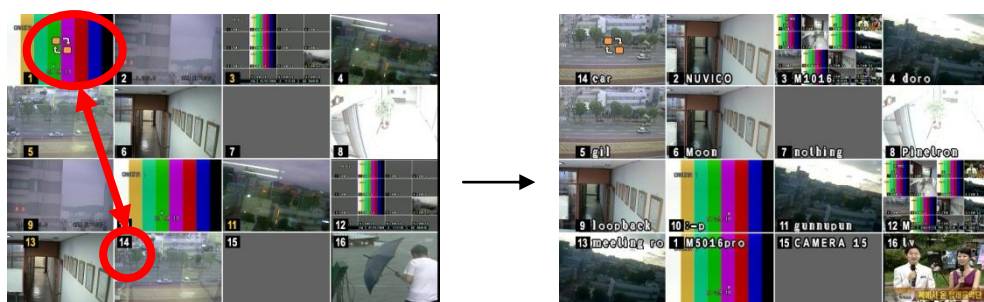
- 1) **[画面分割]**ボタンを押すと分割画面表示になります。画面分割設定で選んだ順序によって切り替わります。
- 2) 1画面自動切替を開始するには**[画面分割]**ボタンを2秒間押します。
- 3) 自動切替モードおよび画面切替時間は、プログラム可能です。これらの設定は“画面自動切替設定”で行います。

3. 分割画面用クイックボタン

3.1. 画面移動

6,7,8,9,10,13,16画面分割モードでカメラの画面を移動することができます。

- ① リモコンのスポットボタンを押して  を選択します。  マークが表示されます。
- ② 移動したいチャンネルの数字を押します。

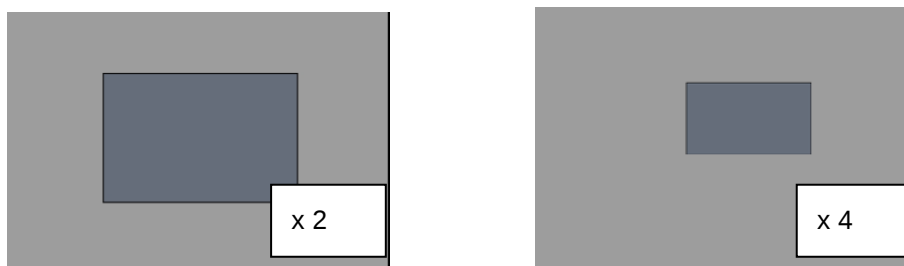


- ③ 変更を保存して抜けるには[保存]ボタンを押します。
変更を保存せずに抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。
再度、チャンネルを配列するには[画面分割]ボタンを押します。

4. ズーム

ライブ監視の時、画面の见たい部分を拡大して见ることができます。

1. デジタル・ズームを働かせるには、拡大したいカメラの映像を1画面表示にします。
2. リモコンの[ズーム]ボタンを押します。下のようなズーム・エリア・ボックスが表示されます。



3. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使い、ボックスを希望する位置に移動します。
4. [決定]ボタンを押すとズーム・イン、ズーム・アウトします。
5. [キャンセル]ボタンを押すと通常モードに戻ります。

<注意>

- 分割画面の状態でズームボタンを押した場合には、ズーム機能は働きません。

V. 操作

1. ログイン・ログアウト

NVRを操作するには、有効なパスワードが必要です。ログイン・アカウントとパスワードの初期設定は管理者と“000000”です。

<注意> 本機を設置する際には、お客様自身の新パスワードに変更することを強くお願いいたします。
参照→[システム設定]

1. ログイン

- 1) フロントパネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
- 2) NVRの電源が入るとNVR状態をスキャンします。
- 3) 50秒程度の起動の後、ライブ監視スクリーンが表示されます。ただ不良のHDDが検知されると長引く可能性があります。NVRは自動的に直すよう作動しますが、警告メッセージが表示されます。
- 4) フロントパネルまたはリモコンのログインボタンを押します。マウスを使いクリックすると、ログイン・ダイアログ・ボックスが表示されます。
- 5) ログイン  アイコンがステータスバーに表示されます。



2. ログアウト

フロントパネルまたはリモコンのログインボタンを押します。また、マウスを使い画面上でアイコンをクリックすると、ログアウトされます。

2. メイン・メニューの概要

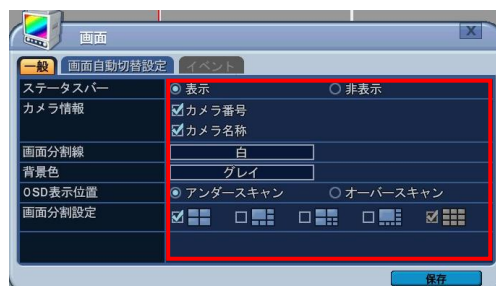
1. 管理者やユーザーアカウントで NVRにログインします。
* ユーザーの初期権限では[ディスクとシステムメニュー]に接近できません。
2. フロントパネルまたはリモコンの[メニュー]ボタンを押します。画面上でマウスを右クリックしてもメニューが表示されます。
3. 方向[▲▼◀▶]ボタン、マウスを使い希望するメニューを選択します。



4. メニューに入り、下位メニューを見るには[決定]ボタンを押します。
またはマウスでクリックします。
5. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューを選択します。



6. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
7. [-、+]ボタンまたはマウスで値やオプションを変えます。



8. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

VI. 設定

1. 画面

1.1. 一般



1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
2. [-、+] ボタンまたはマウスで値やオプションを変えます。

項目	説明
ステータスバー	メインモニタ画面下のステータスバーの表示・非表示を切替えます。 
カメラ情報	カメラ番号と名称、それぞれのオンスクリーン表示の「表示」⇔「非表示」を切替えます。
画面分割線	カメラ映像間の分割線を選択します。 [グレイ → 白 → 青 → 黒 → ダークグレイ]
背景色	映像信号のない状態の背景色を選択します。 [グレイ → 白 → 青 → 黒 → ダークグレイ]
OSD表示位置	OSD表示可能なメイン映像出力はVGA とHDMI モニタに表示できます。 映像はこれら全てのモニタに同時に表示できます。 - アンダースキャン: HDMIモニターに適合 - オーバースキャン: VGAモニターに適合
画面分割設定	画面分割モードの設定により順序が変わります。

3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

1.2. 画面自動切替設定



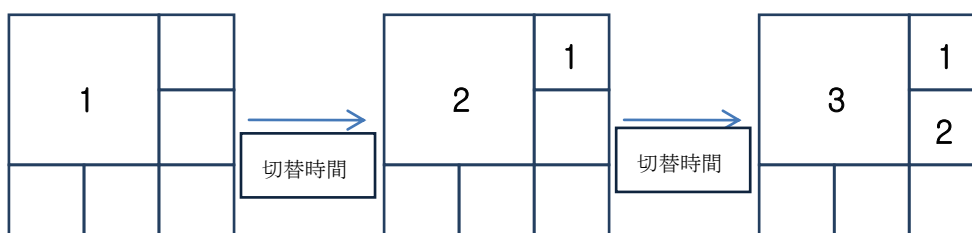
1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

2. 一般

- 1) デバイス：各モニタは違う順序で配列できます。
- 2) 画面切替時間：[決定]を使い、画面分割モードまたは各カメラの切替時間を選択します。**[1秒 ~ 30秒]**
- 3) モード：スイッチモードで表示する画面配列を選択します。

a. 順次：自動切替

b. シフト：切替時間の後、選択されたカメラが切り替えます。



c. イベント：イベント・モード設定の後、イベントが検出された特定のカメラが1画面表示またはマルチ画面表示で現れます。



4) 画面分割設定: 希望する自動切替モードを選択します。

5) 使用チャンネル: 画面自動切り替えに含めるチャンネルを選択できます。

3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

1.3. イベント

モード項目の<イベント>を選択します。メニューが現れた後、アラーム、モーション、ビデオロス(映像信号なし)などを選択します。



イベント編集

設定されたアラーム、モーション、ビデオロスなどが発生すると、該当画面が表示されます。



2. カメラ



左/右ボタン [◀▶] または数字ボタンで目的のカメラを選択します。

IPカメラが接続されている場合、カメラが起動します。カメラチャネルオプションが強調表示され、カメラの設定が表示されます。

項目	説明
接続	接続方法を選択します。 - 自動：PoEカメラを接続します。 - 手動：PoEを支援しないカメラを接続します。
プロトコル	カメラ種類を選択します。
カメラタイトル	カメラ名を入力します。
IP 情報	カメラの簡単な情報を表示します。
設定	カメラに関する詳細な設定をします。
PTZ	PTZ カメラの設定をします。
LIVE STREAM	LIVE STREAMについては以下を参照してください。

- LIVE STREAM

- AUTO：

- ： フル、4分割表示 – メインストリーミング (録画ストリーミング)

- ： それ以上の 4分割表示 – 30fps@D1

- MAIN STREAM：録画ストリーミング

*ノート：ライブストリーミングは連続録画設定とイベント録画設定により変化します。

- SUB STREAM： 30fps@D1 ストリーミング – Real Time Live

- IP カメラの手動設定

- 1) 接続で手動を選択すると下記の写真のようにIPカメラを設定できる項目が表示されます。
- 2) IP情報の項目で **USE**チェックボックスを選択後、設定ボタンを押すとIPカメラの設定することができます。
- 3) IPカメラのユーザーID, パスワード, IPアドレスを入力します。



IPカメラより詳細な情報と設定のためには「設定」で各項目を設定することができます。

2.1. 情報



- モデル情報：IP カメラの情報
- ホスト名：IP カメラのホスト名
- 状態：IPカメラの温度状態の表示
- バージョン：IPカメラの現行のバージョンの表示

2.2. CAMERA



項目	基本値	説明
DAY NIGHT	AUTO	昼間モード、夜間モード変更機能 AUTOの場合、光の量に応じて自動的に変わり、デイは昼間モード、ナイトは、夜間モードに強制的に設定します。
FREQUENCY	60	日本のようなNTSC地域では60(Hz)、ヨーロッパなどのPAL地域では50(Hz)となります。
ORIENTATION FLIP		映像の上下反転機能
ORIENTATION MIRROR		映像の左右反転機能
SHUTTER SPEED	LOW LIGHT	イメージセンサーが映像を一枚一枚撮るときの速度を設定する機能 LOW LIGHTは低照度モード、AUTOは一般自動モード、その他は速度を当該値で固定します。
AGC LEVEL	50	Auto Gain Control機能で値が高いほど、低照度環境で輝度レベルが大きい
ホワイトバランス	AUTO	周辺の光、例えば、白昼か日没か、あるいは白熱灯か蛍光灯かなどの色温度に関係なく、常に同じような色味を持つようにする機能
RED LEVEL	55	ホワイトバランスが手動設定の時に使えます。



項目	基本値	説明
BLUE LEVEL	50	ホワイトバランスが手動設定の時に使えます。
逆光補正	オフ	Enhancement 機能的でWDR、BLC、HLCなどの特別な機能を使用可能
DNR	AUTO	映像のノイズ除去機能
DNR LEVEL	50	ノイズ除去の程度をお設定
輝度	50	映像の明るさを調節
コントラスト	50	映像の対照、対比を調整する機能 明るいのはより明るく、暗いのはより暗く見えるようにする機能
彩度	50	色の線明度を調整する機能
DEGOG	オフ	霧の除去機能



項目	基本値	説明
DEFOG LEVEL	50	霧の除去程度を設定します。
FLICKERLESS	オン	映像のFlicker現象を除去する機能
HUE	50	映像の色調を調整します。
SHARPNESS	AUTO	映像の鮮明度を設定する機能
SHARPNESS LEVEL	50	値が高いほど、映像がより鮮明です。

2.3. DEVICE



1) モーション

モーションを設定するには「設定」を押します。



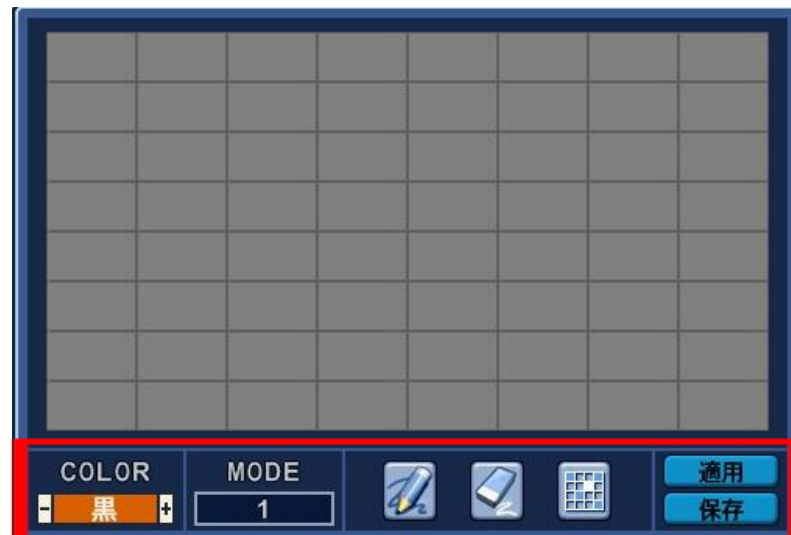
- a. モーションゾーン：選択された部分によって4モーション領域に設定します。
- b. モーショングリッド：エリアプロパティが強調表示され、動き検出は、現在のビューウィンドウで観察することができます。
 - ：すべて選択。 [OK]を押して選択します。
 - ：すべて削除。 [OK]を押して選択します。
 - ：具体的な選択。 [OK]を押して選択します。
- c. モーションレベル：感度の設定は、1 ～20まで設定することができます。：
- d. 適用：変更された設定を保存します。
- e. 保存：変更された設定を自動で設定し、設定を終了します。。

2) ズーム

：簡単なレンズが設置されている場合、このメニューが有効になります。 HDモニターがぼやけた画像を表示、フォーカスが完全にポータブルモニターを介して設定されていると思うときに、ズームアウトした後、ビューは自動的に焦点を当てられます。

3) プライバシー保護

： プライバシー保護を使用すると、関連する法律、政策や規制の下でプライバシー保護のための監視ビデオに特定の領域をマスクすることができます。プライバシーマスクが適用された領域は表示されません。ビデオマスキングを必要とする位置を選択することで、プライバシーマスクを設定したら、カバーされた配置は、ライブビュー、記録と再生に表示されます。



- a. マスクカラー：マスクゾンのカラーを選択します。.
- b. マスクゾン：選択された部分によって4モーション領域に設定します。
 - ：すべて選択。 [OK]を押して選択します。
 - ：すべて削除。 [OK]を押して選択します。
 - ：具体的な選択。 [OK]を押して選択します。.

2.4. LIVE



本機は、ライブビューやネットワークストリーミングのための同じストリーミングを使用します。従って、下のような二つのオプションを選択できます。

項目	選択値	説明
PRIORITY	NETWORK SPEED	ネットワーク速度は高速ですが、ライブ画像の品質が悪くなります。
	IMAGE QUALITY	ネットワーク速度は遅くなりますが、ライブ画像の品質が良いです。

3. 録画

3.1. 一般



1. メニューは左の項目と右の詳細で表示されます。
 2. [-/+] ボタンやマウスで設定します。
 - 1) **予約録画使用**: ナイト・ゾーンを活性化・非活性化します。初期設定はオフになっています。
 - 2) **起動時録画**: 起動時、録画ボタンを押さなくても録画します。
 - 3) **上書き録画**: HDDの録画方法を決めます。
 - オン: 上書き録画します。(初期設定)
 - オフ: HDDの残量がないと録画を中止します。
 - 4) **自動削除**: HDDのデータの自動削除を設定します。選択した期間が経つと削除します。
[なし → 12時間 → 1日～6日 → 1週間～4週間 → 30日]
 - 5) **事前録画**: イベント録画の開始前の録画時間を選択します。
[5秒～300秒] 初期設定は 5秒になっています。
 - 6) **事後録画**: イベント録画の終了後の録画時間を選択します。
[5秒～300秒] 初期設定は 5秒になっています。
- <ノート> イベント録画中、また違うアラーム/モーションが検出されると録画時間が延長されます。
3. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

3.2. デイ(常時録画)

本機は、工場出荷時に初期設定されています。そのため設置して録画ボタンを押すだけですぐに録画ができます。初期設定では、音声、アラーム、モーション録画はオフとなっています。



NVRは継続してビデオデータを録画します。録画設定はノーマル録画に適用されます。各カメラでそれぞれ設定ができます。他のチャンネルに同じ設定を適用するには**[画面分割]**ボタンを押してください。

項目	調整
解像度	モードタブでディスプレイされる解像度を選択します。
音声	音声録音可否を選択します。(オン/オフ)
F/S	各カメラの録画速度を選択します。(コマ数)
画質	各カメラの録画画質を指定します。 最高画質 → 超高画質 → 高画質 → 中画質 → 低画質

3.3. デイ(イベント録画)

カメラ毎に違うイベント録画設定ができます。イベント項目で録画速度と画質を選択します。



[デイイベント]タブでイベント録画に使用するアラーム、モーション、ビデオロスを選択します。

1) アラーム録画

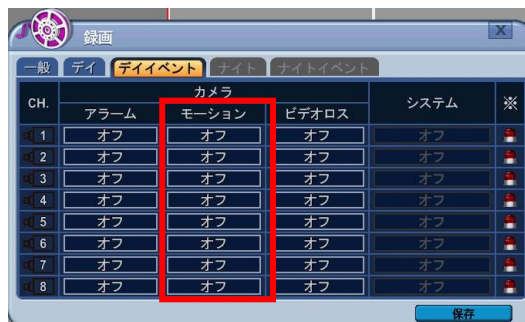
1個のアラームは1個のカメラ・チャンネルに設定されますが、1個のカメラ・チャンネルには複数のアラーム入力ができます。



- [決定]ボタンまたはマウス・ホイールで値やオプションを選択します。
- [全て]表示は全アラーム入力を示します。
- アラーム入力/出力に関しては[デバイス/アラーム]を参照してください。

3.4. モーション録画

一つのモーション検出は1個のカメラ・チャンネルに設定されますが、1個のカメラ・チャンネルには複数のモーション検出ができます。

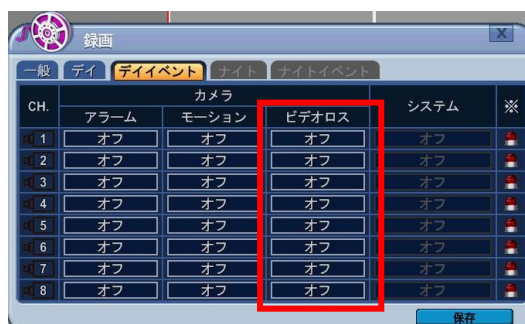


- a. [決定]ボタンまたはマウス・ホイールで値やオプションを選択します。
- b. [全て]表示は全モーション検出を示します。
- c. モーション設定は[カメラ]メニューを参照してください。

<Note> ビデオ入力信号や周辺環境のため、NVRのモーション検出が正常動作しない場合があります。

3.5. マルチ・イベント録画

- a. ビデオロス(映像信号なし)：一つのビデオロスは1個のカメラ・チャンネルに設定されますが、1個のカメラ・チャンネルには複数のビデオロス機能ができます。



b. イベント編集



[決定]ボタンを押し、マルチ・イベントを編集します。メニューの左側にはオプションが右側には詳細設定項目が表示されます。リモコンまたはフロントパネルの方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

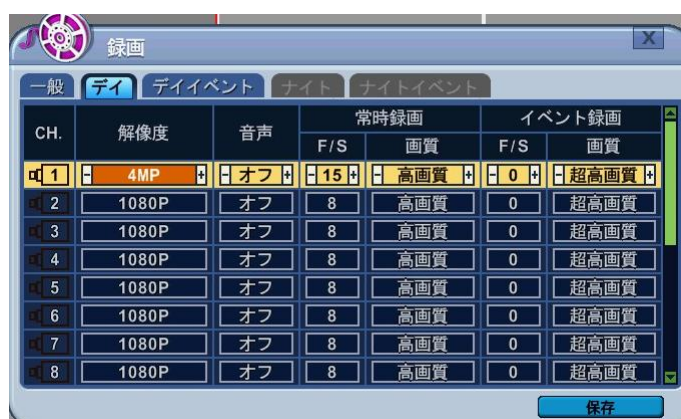


リモコンの[-/+]ボタンまたはマウスでオプションを選択します。
イベント編集ではシステムメニューを使用できません。

3.6. ノーマル + イベント(モーション/アラーム) 録画

ノーマル録画とイベント録画は同時に設定できます。ノーマル録画中にイベントが発生すると、記録速度及び画質は、連続記録値とは異なる値に設定することができます。

<例>



録画ボタンを押すことによって最高画質の画質と8F/Sの速度でノーマル録画が開始されます。イベントがトリガーされると、高画質の画質と30F/Sの速度で録画されます。イベント録画が終わるとノーマル録画に切り替わります。

<ノート> [デイイベント]タブでモーション、アラーム、ビデオロスなどのイベントを選択します。

4. 予約録画

予約録画をオンにすると、特定の日付設定だけではなくユーザー独自の昼や夜を設定できます。予約録画では時間、カメラ、録画速度やイベントなどを設定できます。予約録画をオンにしてナイトモードを活性化します。



4.1. 予約録画設定

スケジュールチャートは定義された録画モードをグラフで表示します。ナイトモードが初期設定となっています。 予約録画が設定された場合に限りスケジュールが表示されます。



- * デイ(黄): 昼設定を行います。
- * ナイト(緑): 夜設定を行います。
- * 録画休止(青): 画面表示されますが、録画しません。

- 1) 方向[▲▼◀▶]ボタンを使って移動します。
- 2) 各項目へ移動し、[決定]ボタンまたはマウスで選択します。
- 3) 下記のように詳細メニューが表示されます。



- a. [- / +]ボタンまたはマウスで値を変えます。
 - モード: [ナイト] → [デイ] → [非録画]
 - 開始: 録画開始時刻
 - 終了: 録画終了時刻 録画終了時刻は開始時刻の先または、同じ時刻では動作しません。必ず開始時刻の後に設定してください。
- b. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。
- 4) 予約設定のコピー
 - a. 方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。(日～土)
 - b. 希望する設定で[画面分割]ボタンを押します。

4.2. 休日設定

設定した予約録画と別度日付を決め設定することができます。平日のスケジュールと重なる場合、休日設定が優先します。



- 1) 方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。
- 2) [-/+]ボタンまたはマウスで項目を選択します。
- 3) [-/+]ボタンまたはマウスで値を変えます。
 - モード: [OFF] → [デイ] → [ナイト] → [非録画] → [日～土] → [カスタム]
 - 月/日: 休日開始の日付
 - 日数: 休日持続期間[1日から15日間]

5. ディスク

5.1. ディスク管理

ディスク・マネージャーではハード・ディスクのフォーマットとバックアップなどのハード・ディスクの設定を行います。



1. 選択

- 1) デバイス: 装着されたHDDのリストが表示されます。
- 2) 上下[▲▼]ボタンで移動した後、**[決定]**ボタンまたはマウスで選択します。
- 3) 容量: 設置されたHDDの情報を示します。サイズは現在使用されていない各容量を示します。
- 4) 状態:
 - a. NONE : 新しく設置されたディスク
 - b. NO DATA FOR RECORD : 録画用ディスク割当てた後、録画しないで削除時
 - c. NO DATA FOR BACKUP : バックアップ用としてフォーマット時
 - d. RECORD DATA : 録画データがありますが、現在使用されていません。
 - e. BACKUP DATA : HDDにバックアップデータが保存されています。
 - f. OTHER DATA : AVIファイルを含め、録画データやバックアップデータではないことを示します。
 - g. Damaged

<ノート>: 非接続されたディスクはディスク・メニューから消えます。

2. 動作 :

- 1) なし: 設定を変更しません
- 2) **録画ディスクに指定** : 選択されたHDDを初期化します。 ドライブをフォーマットし、全てのデータを削除します。 HDD容量を増やすためには外部SATA HDDを接続します。フォーマットが終わったHDDは[録画ディスク]で表示されます。

3) バックアップ用フォーマット：

メディアまたは外部HDDにバックアップするためにフォーマットします。
下の表は多種のデバイスにバックアップするときのガイドラインです。

4) 録画ディスクリンク：

使われていたHDDをデータを削除せずにリンクします。

<ノート>

- A. 録画中のHDDがあるとリンクされません。
- B. 同じモデルで使用していたHDDのみリンクできます。
- C. 同じ時間帯のデータがあるとリンクされません。

3. [+] または [決定] ボタンを押すと、選択したアクションが開始されます。

4. 変更を保存するには[保存] ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル] ボタンを押します。

5.2. 録画用ディスク

現在使用されている各ドライブの情報を示します。



ディスク				
ディスク管理 録画用ディスク S.M.A.R.T情報				
NO.	容量, 範囲	デバイス	状態	動作
1	1G / 999G 13/05/29 ~ 13/05/30	INT-B	安定	除去
2				
3				
4				

1. 容量、範囲

：現在の録画データの量、HDDサイズを示します。また保存されているデータの範囲と録画有無を示します。

2. デバイス

録画用に使用されているディスクを表示します。

3. 状態

- 1) 安定：HDDが安定しています。
- 2) 回復：スレーブディスクにコピーしています。

- 3) 再回復: 保留中の全てのバッファディスクを新しい設置ディスクに記録します。
- 4) 復旧: 保留中の全てのバッファディスクをスレーブディスクに記録します。
- 5) 損傷: 不安定しています。

4. 動作: HDDを除去する場合、選択します。

5.3. S.M.A.R.T 情報

不良セクター、温度、HDD 動作時間などの情報が分かります。

HDD 製造社によりスマート情報と少し異なります。



The screenshot shows a window titled 'ディスク' (Disk) with a tab labeled 'S.M.A.R.T.情報' (S.M.A.R.T. Information). The window contains a table with the following data:

NO.	ID	不良セクタ	温度	時刻	状態
1	INT-B	1	43 °C	494 日	正常
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

6. ネットワーク

お客様がインターネット接続契約で固定IP契約をしている場合には、契約期間中は一定のIPアドレスを利用可能です。動的IPアドレスでのご契約の場合には、モデムを接続する度または、ある一定の時間毎にIPアドレスが変化します。多くのインターネット・サービス・プロバイダが、両方のサービスを提供していて、このマニュアルでは両方でのNVRの使い方を説明します。

6.1. LANポート及びIP CAMポート

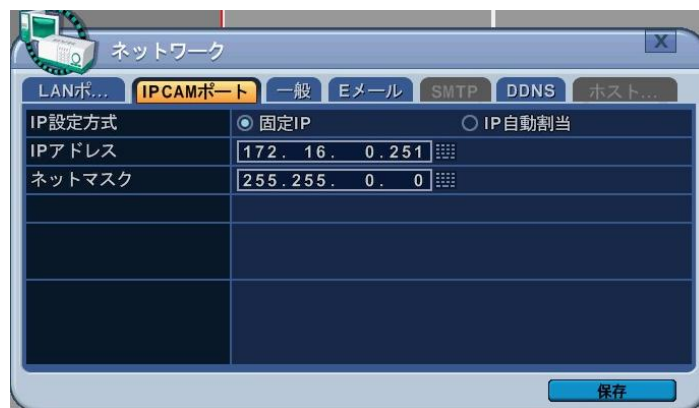


1. LANポート

- 1) IP設定方式：IPアドレスタイプを選択します。
- 2) IPアドレス：固定IPアドレスを入力します。
- 3) ネットマスク：サブネット・マスクのIPアドレスを入力します。
- 4) ゲートウェイ：インターネット・ゲートウェイ・サーバーのIPアドレスを入力します。
- 5) 第1 DNSサーバ：DNS名を確認します。
- 6) 第2 DNSサーバ：バックアップDNSサーバのIPアドレスを入力します。

第1 DNSサーバーに問題があるとき、このサーバーが使われます。

〈注意〉 DNSサーバーを正確に設定しないと、メール伝送に障害が生じます。



2. IP CAMポート

- 1) **IP設定方式**：IPアドレスタイプを選択します。
- 2) **IPアドレス**：固定IPアドレスを入力します。
- 3) **ネットマスク**：サブネット・マスクのIPアドレスを入力します。

* IP自動割当、**DYNAMIC IP**: DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

ローカルDHCPサーバー(例: ローカル・ルーター)があると自動設定されます。DHCPがONになると、IPアドレス、ゲートウェイ、サブネット・マスクがDHCPサーバーにより割り当てられます。(例: ローカル・エリア・ネットワーク・ルーター)

6.2. 一般



1. **アクセス・ポート**: 0001～9999を選択します。

インターネット上でNVRとコミュニケーションするポート番号を入力します。

初期設定は7000です。1,000以上のポート番号をお勧めします。

2. **使用帯域幅:** クライアント接続に割り当てられたネットワーク・リソースを制限するネットワーク使用帯域幅を選択します。初期設定は[無制限]です。
“4 KBPS~ 8 MBPS”から選択します。
3. **アクセス・ブロック:** - PING要求に応答しません。初期設定は「オフ」。
- スキャン: EMSからのオート・スキャンに応答しません。
4. **接続可否リスト:** ネットワークに接続する機器を許容するかチェックします。
5. **EXTRA PROTOCOL**
 - 5.1 **EASY P2P:** UPNPおよびホールパンチングコンプライアンスとルータの通信のために自動的に開いているポートを[オン]を選択します。オフは手動ポート構成となります。
 - 5.2 **TWOWAY AUDIO:** NVRと遠隔ソフトウェアで双方向オーディオを支援します。
 - 5.3 **RTSP SERVICE:** CH毎にRTSP Streaming Serviceを支援します。
(現状は未支援)

6.3. Eメール

このNVRはイベント発生のお知らせを送信する設定ができます。アラームまたはモーションのようなイベントが発生するとEメールで知らせます。



基本提供されるNVR Eメールサーバーまたは個人 Eメール設定が利用できます。

1. **使用:** オンまたはオフを選択します。[- +]、[決定]ボタンで選択します。
 - 1) **デフォルト:** 初期設定が提供されます。Eメール通知オプションとEメールアドレス設定メニューが活性化されます。
 - 2) **SMTP:** ユーザーのEメール設定を実行するSMTP構成タブが活性化されます
2. **伝送周期:** 選択した時間の後、Eメールが伝送されます。
 - 1) **イベント :** [即時、10分、1時間、1日]
 - 2) **ログ :** [1日、1週間]
3. **再試行回数:** 転送失敗の際、再転送する回数を決めます。
4. **メール送信ソース:** 通知オプションでイベントを設定します。
 - 1) **イベント編集:** 各チャンネルでアラーム、モーション、ビデオロスの通知をEメールで行います。

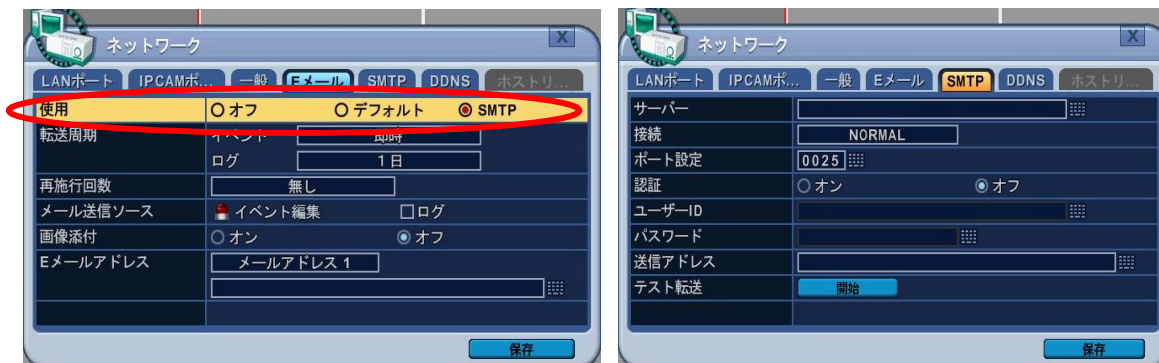


- 2) **ログ:** ログリストを送信します
5. **画像添付:** Eメールに写真を添付することができます
6. **Eメールアドレス:** 5箇所までの指定されたEメールアドレスにEメール伝送できます。

6.4. SMTP

このメニューはEメールで <SMTP> を選択すると活性化されます。

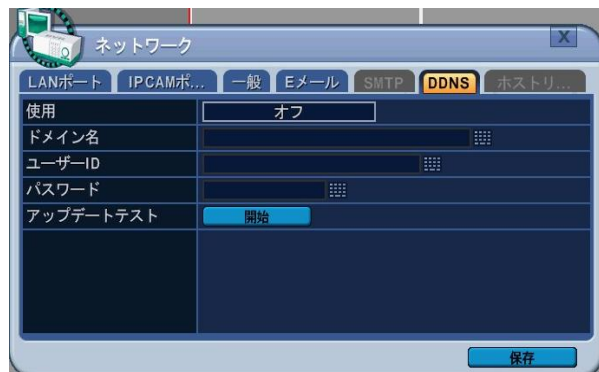
次の設定は NVRメールサーバーをお使いにならない場合のみ必要です。



1. サーバー：Eメールサーバー名またはIPアドレスを入力します。
2. 接続：SMTP転送時、セキュリティが強化された特定メールサーバー(例：Google など)を使う場合には「TLS」、「SSL」を選択して下さい。セキュリティが適用されてないメールサーバーを利用する場合は「NORMAL」を使います。
3. ポート設定：SMTPサーバーが通信するポートを入力します。初期設定：25
4. 認証：Eメール・サーバーに認証が必要な場合、<オン>に設定します。
5. ユーザーID: SMTPサーバーのユーザーIDを入力します。
(大文字で表現されても小文字で認識されます。)
6. パスワード：SMTPサーバーのパスワードを入力します。
7. 送信アドレス：送信先のメールアドレスを入力します。
8. テスト転送：送信テストを行います。
9. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

6.5. DDNS (ダイナミック DNS)

変化するIPアドレスの履歴を管理し、簡単にウェブで接続できます。



1. 使用: DDNS オン/オフを選択します。オンにする場合、DDNSプロバイダーを選択します。

- 1) デフォルト: 初期設定が提供され <http://www.dvrhost.com>でのDDNSサービスが利用できます。

DDNSの<初期設定>を利用する場合には、設定する必要はありません。ホスト名はNVRから提供されます。メイン画面で[システム情報]を選択するとホスト名が分かります。



例) <http://GR5E93D6.dvrhost.com:7000>

- 2) DYNDNS: 独自のドメインネームサービスまたは“dyndns.com”を利用します。
2. 初期設定を利用しない場合は、次の設定が必要です。
 - 1) ドメイン名: DDNSウェブのドメイン・ネームを入力します。
 - 2) ユーザーID: ユーザーIDを入力します。
 - 3) パスワード: パスワードを入力します。
 - 4) アップデートテスト: 接続状態を確認するために[アップデート・テスト]ボタンをクリックします。

6.6 ルーター & ポートフォワーディング

大半のネットワークはルーターを通したインターネット接続を共有するシングルIPで構成されています。このIPアドレスはインターネット・サービス・プロバイダーによるグローバル固定IPアドレスまたはダイナミックIPアドレスです。

ルーターを通して、多数のパソコンやデバイスが同時にインターネットにアクセスすることができます。初期設定でのルーターでHypertext Transfer Protocol (HTTP, Port 80), File Transfer Protocol (FTP, Port 21), Telnet (Port 23), Post Office Protocol 3 (POP3, Port 110)が利用できます。

ルーターでネット上の訪問者を指定されたポートに誘導し、ファイヤーウォール問題を解決します。(ポート・フォワーディング) ルーターが特定ポートへの全てのインターネット要求をローカル・マシンに誘導します。ポート・フォワーディングで内部デバイスが保護される中、外部訪問者はNVRに接続することができます。

「NVR接続の例」

ネットワーク	ルーター	NVR IP 設定	PC接続ポジション			PC接続ポジション		備考
			① LAN			② WAN		
			A	B	C	B	C	
固定IP	使用	固定	○	△	×	★	★	
		DHCP	○	▲	×	☆	★	InfoのNVR IP確認と ルーターの設定
	×	固定	○	○	○	○	○	
		DHCP						不可 [ローカルDHCPサー バー必要]
DHCP	使用	固定	○	△	×	★	★	
		DHCP	○	△	×	★	★	InfoのNVR IP確認と ルーターの設定
	×	固定						不可
		DHCP				△	△	PPPOEは支援不可

1) ロケーションの説明

- A. LAN: ローカルIPから接続。ネットワーク内で接続する場合、システムのIPアドレスを入力します。(例 192.168.0.50)
- B. WAN: DDNSから接続。ネットワークの外部から接続する場合は、DDNSを利用します。(例 L123456.dvrhost.com)。
- C. WAN: IPアドレスで接続。ネットワークの外部から接続して固定IPアドレスを知っている場合、IPアドレスを利用します。(例 <http://124.137.23.72:6000>)

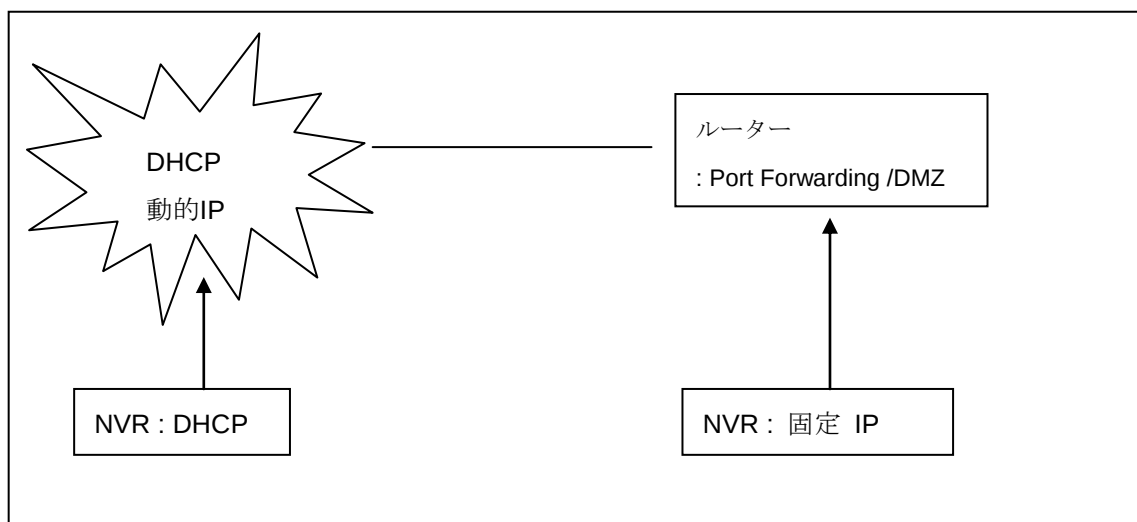
2) シンボルの説明

- : 接続
- x : 接続不可
- △ : ルーターまたは、ネットワーク接続に制限あり
- ★ : ポート・フォワーディング必要

3) カラーの説明

- 黄 - お勧め
- グレイ - 不可
- 白 - ルーターまたはネットワーク状態に依存

2. DHCPでのNVR接続



<ノート> 各ルーターのポート・フォワーディング設定は異なります。ルーター・マニュアルを参照してください。

7. デバイス

7.1. 一般

このNVRは1個の音声、アラーム入力、1個のリレー出力、HDMI出力を支援します。



1. メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

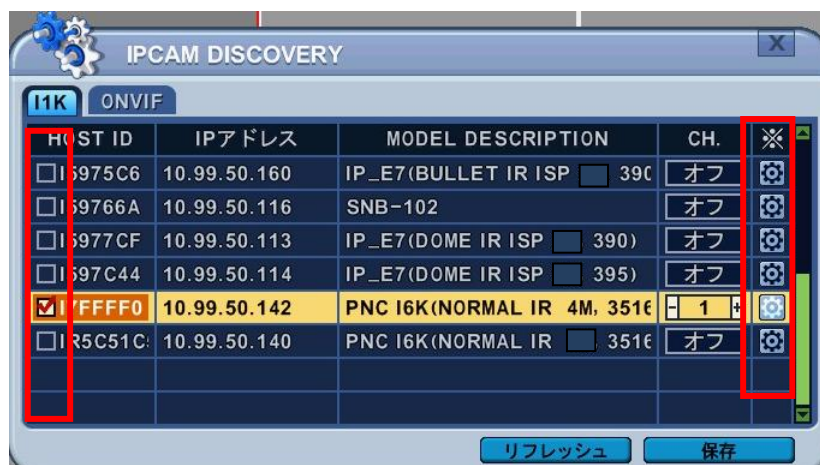
1) キーパッドモデル: コントローラとボー・レートを選択します。

2) PTZイベント: PTZイベント持続時間を設定します。

3) アラーム出力: アラーム持続時間を設定します。

4) IPカメラ設定: PTZイベント持続時間を設定します。

【設定】のボタンを押すと、同一ネットワーク網に接続されているIPカメラがIPCAM DISCOVERYメニューウィンドウとして表示されます。

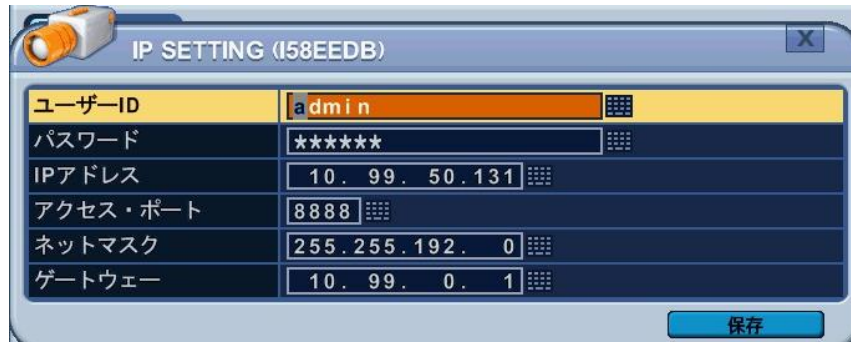


A. HOST ID: IPカメラのHOST IDを表示します。

B. IPアドレス: IPカメラの現行のIPアドレスを表示します。

C. MODEL DESCRIPTION: IPカメラのタイプを表示します。

- D. CH. : チャンネルを割り当て、ID、パスワード、およびネットワーク設定に関する情報を設定することができます。

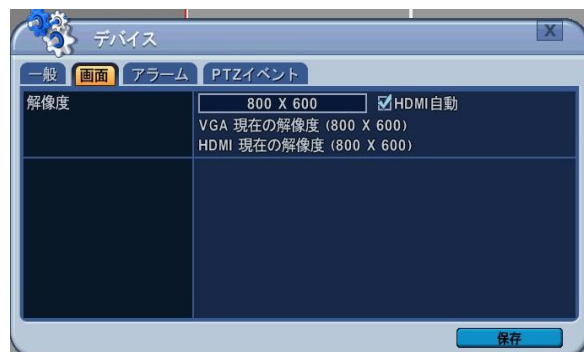


- 5) IPカメラアップデート : アラーム持続時間を設定します。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

7.2. 画面



1. 解像度: モニターを介してビデオ出力の解像度を選択します。

- 自動的に検出し、デフォルトでモニターの正しいビデオ解像度を設定します。
- **HDMI 自動**

自動的に検出し、NVRに接続されたモニターHDMI解像度を設定します。VGA モニターは高解像度をサポートすることが出来ない場合、“no video” と表示されます。

<ノート> 両方のモニターを使用するには、HDMIを接続するためとVGA出力では、HDMI自動を選択せずに最低解像度として設定してください。

7.3. アラーム

このNVRは、全チャンネル(4/8/16CH)アラームと1個のリレー出力を支援します。1個のアラーム入力を1個のリレー出力する様に構成する事ができます。1個のリレー出力には多数のアラーム入力が割り当てられます。



左右[◀▶]ボタンで下位メニューのアラームを選択します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。

1. アラーム入力: 入力タイプを選択します。[- +] ボタンやマウスで値を変更します。

2. ブザー

1) 使用

a. **オン:** アラームがトリガーされるとブザーが鳴ります。ブザーは録画時間中、鳴り続きます。このブザーはアラーム出力と関係します。アラーム・ブザー機能はアラーム出力を“ON”にすると活性化されます。

b. **オフ:** アラーム・ブザー機能をオフにします。

2) 無効: ブザーをターン・オフします。

a. **イベント:** イベントが終了するとブザーはターン・オフされます。

b. **手動設定:** ブザーを“制御”でターン・オフします。

3. ALARM OUTPUT: リレー出力コントロール方法を選択します。

1) 使用: 出力タイプを選択します。

2) 停止方法: リレー出力方法をターン・オフします。

a. **イベント:** イベント設定期間が満了するとリレー出力はターン・オフされます。

b. **手動設定:** リレー出力を“制御”でターン・オフします。

3) 制御



[決定]ボタンを押し、複数のイベントを編集します。メニューは左側のオプションと右側の設定になっています。フロントパネルまたはリモコンの方向[▲▼◀▶]ボタ

ンでカーソルを移動します。



- リモコンの[- / +]ボタンまたは、マウスでオプションを選択します。
- 説明：システムでチェックするアイコンの説明が表示されます。

- HDD ディスク障害
- 録画システム障害
- 温度警告
- ファン・ロック・警告
- 電圧警告
- リモコンのバッテリー交換警告
- 外部デバイス・イベント
- ネットワーク・リンク非接続
- 管理者ログイン
- 電源リカバリー
- ディスク・フル
- シーケンスのパスワードが無効です。
- 補助イベント

4. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

7.4. PTZ イベント

アラーム、モーション、ビデオロスなどのイベントが発生するとNVRはプリセット命令をPTZカメラに出します。PTZオプションを確認してプロトコルをカメラ・チャンネルと合わせます。



1. チャンネル: 希望するPTZカメラを選択します。

2. 有効: PTZアクション[なし →位置 → ツアー]

イベント検出時の番号またはツアー・グループをプリセットします。

3. 無効: イベント期間終了後のカメラ・ポジションを選択します。

4. イベント編集



[決定]ボタンを押し、マルチプル・イベントを編集します。メニューは左側のオプションと右側の設定になっています。リモコンまたはフロントパネルの方向 [▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。



<ノート> PTZイベントでPTZカメラのモーション検出を設定しないでください。
信号伝送に問題が発生します。

5. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。

保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

8. システム

8.1. 一般



1. **コントロール ID:** 各NVRをコントロールIDで指定すると、リモコンで操作することができます。（付属のリモコンでは現在支援しません。）
2. **システム名:** ネットワークに多数のNVRがある場合、NVR名で区別します。
3. **キー操作音:** キー音のオン/オフを選択します。NVRキー音は“オン”に初期設定されています。
4. **自動ログアウト:** NVRの自動ログアウトが設定できます。初期設定は“オフ”。
[オフ → 1分 → 3 分 → 5 分 → 10分 → 30分 → 60分 → 120分]
5. **HDD状態監視:** ディスクメニューのSMARTステータスタブでHDDの情報を表示するにはオンまたはオフにします。
6. **キー感度:** NVR前面のタッチボタンの感度を調整します。

8.2. 日時設定

録画開始前に日時設定を確認してください。



1. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューの日時設定へ移動します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。[- +]、マウスで値を変えます。
 - 1) **タイムゾーン**：<付録 1: タイム・ゾーン・チャート>を参照してください。
NVRが位置されている時間帯を選択します。タイム・ゾーンにはサマータイムが初期設定されています。サマータイムが終了すると、標準時間に戻ります。(1時間)
 - 2) **日付表示形式**：日付の表示形式を選択します。
[月/日/年 → 日/月/年 → 年/月/日]
 - 3) **NTP時刻同期**：NVRの時間はNTP(ネットワーク・タイム・サーバー)を通し、外部時間ソースに同一化できます。NTPオプションをオンにすると、日時オプションが非活性化されます。
 - 4) **NTPサーバー**：公共または個人NTPサーバーを利用します。サーバーやドメインのIPアドレスを入力します。初期設定は公共サーバー“pool.ntp.org”です。
<ノート> 時間差：最低 64秒～ 最大 1,024秒
 - 5) **NTP同期テスト**：NTPサーバーでの時刻同期をテストします。
 - 6) **日付 & 時間**：現在の日付と時間を入力します。
2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

8.3. ユーザーアカウント



1. 左右[◀▶]ボタンで下位メニューの“ユーザー設定”へ移動します。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。方向[▲▼◀▶]ボタンでカーソルを移動します。[- +]、マウスで値を変えます。

- 1) **ユーザー/名称:** NVRは管理者で初期設定されています。ユーザー1~10を選択し、オンを押します。
 - a. ユーザー名: 10半角まで。
 - b. 使用文字: アルファベットA ~ Z、数字 0 ~ 9
- 2) **権限:** 管理者の場合、各ユーザーの権限が設定できます。[再生, PTZコントロール、バックアップ、設定(ディスクとシステム以外)、録画停止、システム終了]
- 3) **遠隔用パスワード:** 初期設定で管理者はネットワークのパスワードがありますが、ユーザーはネットワーク接近が不可になっています。
[カスタム・パスワード]で新しいパスワードを設定することができます。
 - a. パスワード: 14半角まで
 - b. 使用文字: アルファベットA ~ Z、数字 0 ~ 9
- 4) **使用チャンネル**
各ユーザー毎にライブ監視できるチャンネルが設定できます。
- 5) **システムパスワード**
新しいパスワード 6 数字を入力して、確認欄に再入力します。入力するごとに*マークが表示されます。

2. 変更を保存するには[保存]ボタンを押します。
保存せずにメニューを抜けるには[メニュー]や[キャンセル]ボタンを押します。

8.4. アップデート



1. 最新のファームウェア・ファイルをダウンロードしてUSBメモリにコピーします。

<注意>: ファイルが全部ダウンロードされているかご確認ください。

2. 前面パネルに **USB** を接続します。(録画中には録画を停止してください。)
3. 方向ボタンで移動し、[開始]ボタンを押します。次に[+]ボタンを押し、アップデート・ファイルを検索します。**NVR** が有効のアップグレード・ファイルを検知すると、アップデート・メニューが活性化されます。
4. **[決定]**ボタンでアップグレードファイルを指定します。
バージョン情報が表示されますので複数のアップグレード・ファイルがある場合には画面のバージョン情報をご参照ください。
5. 方向ボタンで、[開始]ボタンに移動し、**[+]**ボタンを押します。
アップデートが始まると“作業進行中”とのメッセージが表示されます。
6. アップデートが終わると“成功”というメッセージが表示されます。 **[+]**ボタンを押すと再起動します。

ノート1: アップデート中に電源を切ったり、ボタンを押さないでください。

ノート2. NVR アップデート前に販売先にご相談ください

8.5. 情報

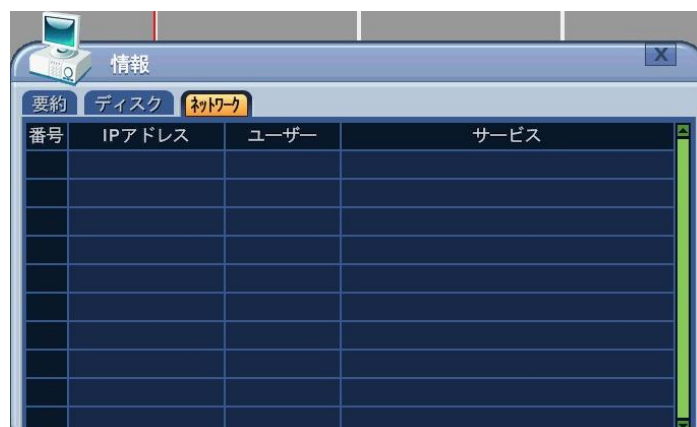
情報：モデル情報やMacアドレス、HDD 状態などが表示されます。



ディスク：内蔵されているHDDの容量とUSBメモリーに関する情報を示します。



ネットワーク：IPアドレス、ユーザー、ネットワークユーザーのサービスについて示します。



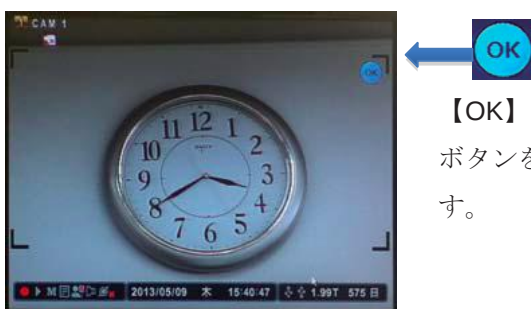
VII. パン/チルト/ズーム制御

PTZ制御は、PTZドーム・カメラが接続された時に利用できます。PTZオプションは各カメラ・チャンネル毎に設定します。(カメラ・メニューのPTZ制御参照)

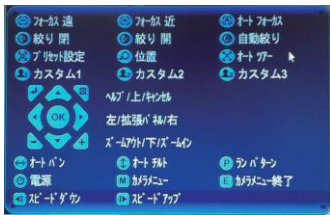
カメラ制御インターフェースの表示位置は、NVR前面またはリモコンのボタン位置と合っています。カメラ制御インターフェース・モードの時は全てのボタンがカメラ制御関係の操作のために使用されます。

1. P.T.Z. メニュー

- 1) P/T/Z制御を有効にするには、制御したいカメラの1画面表示を選択します。
- 2) 次に[P/T/Z/FOCUSカメラ制御] ボタンを押します。下図のようにショートカット・メニュー・ボックスが表示されます。



【OK】 ボタンをマウスで押すかリモコンのメニューボタンを押すと操作用コントローラーが表示されます。

ボタン	機能
 [決定] [キャンセル] ※付属のリモコン	• [MENU]ボタンを押すと“HELP”メニューが表示されます。次に[MENU]や[キャンセル] ボタンを押すとヘルプ・メニューから抜けます。  • [キャンセル]ボタンを押すとカメラ制御の操作を中止します。
 [OK] ボタン	• P/T/Zカメラ制御インターフェースの全機能を使用可能にする拡張メニューに切り替えます。もう一度このボタンを押すと、元の簡単なメニューに戻ります。

	
	• チルト＝上下移動の制御 • パン＝左右移動の制御
	• ズームイン・ズームアウトの制御

2. プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置設定：リモコンの スポット アウト カメラを希望の場所に動かします。 プリセット設定 ボタンを押します。 「カスタム1」 が点滅します。 プリセット位置のために#をセットします。 決定 を押すと保存して抜けます。
	プリセット選択： リモコンの システム情報 ボタン Go ボタンを押します。 希望するプリセット#を入力し 決定 を押します。
	オート・ツアー開始：リモコンの バックアップ ボタン オート・ツアー ボタンを押します。 + ボタンを押し、プリセットの範囲を入力し、決定 を押します。 例えば、オート・ツアー ボタン+5 はPTZ カメラのプリセット1～5 のツアーを開始します。

2.1. ツアーグループ

ツアーグループのプリセットでプログラムされたPTZプリセットの自動切替ができます。

1) 通信設定

モデルを選択し、ボーレートとコントロールID(アドレス)を入力します。適切なジャンパー設定のためにPTZカメラのメーカーのマニュアルを参照し、NVRとのプロトコルを合わせてください。

2) ツアー: 四つのツアーがプログラムできます。[決定]ボタンで値を選択します。

[グループ 1 → グループ 2 → グループ 3 → グループ 4]

3) 各ツアーグループの下位メニューです。メニューは左側のオプションと右側の設定で表示されます。

- グループリスト: 最大10個のプリセット位置が設定できます。
- プリセット番号: 最初と最後のプリセット番号を入力します。
- 画面切替時間: プリセットの切替待機時間を選択します。
- 変更: ツアー・リストを追加、修正、削除します。
- ツアーリストの追加をするには**b** から **d** の段階を繰り返します。

3. カスタム機能

ボタン	機能
	PTZ カスタム機能 1; リモコンの画面分割ボタン
	PTZ カスタム機能 2; リモコンのズームボタン
	PTZ カスタム機能 3; リモコンのカメラ制御ボタン

4. 自動パン / 自動チルト / 電源

ボタン	機能
	自動パン; リモコンの停止ボタン
	自動チルト; リモコンの早戻し(巻き戻し)
	電源 オン / オフ; リモコンの早送り

5. PTZ カメラ・モデル - パン/チルト/ズーム カメラ・リスト

#	モデル名	3X	速度	プリセット	Go to	ツアー	パン	チルト	Pat	Me	Esc/ Enter
1	PELCO, D	0	0	0	0	0	0		0	0	
2	RVT, EZ Protocol	0	0	0	0	0			0	0	0
3	PELCO, P	0	0	0	0	0	0		0	0	
4	Hitron, Fastrax 2	0	0	0	0	0			0	0	0
5	Bosch, Auto Dome										
6	MERIT LINLIN										
7	APPROMEDIA										
8	LG,MULTIXE CAM/DOME										
9	BBV,PROTOCOL V2										

<ノート> 速度：1~8 ステップ



1 (低速) → 8 (高速)

VIII. 再生/検索

このNVRは二つの再生モード(再生、検索)ができます。記録されたデータベースから便利に希望する映像を検索して再生することができます。検索機能モードには日時検索、イベント検索、ログ検索があります。

1. 再生

ライブ監視や録画中に[PLAY再生]ボタンを押すと、最新のデータから再生を始めます。録画された映像を全部再生して停止します。
再生中に逆戻り、一時停止、1X～16X 再生、コマ送り/戻しなどが再生されます。

2. 時間検索

2.1 複数チャンネル再生

1.  **[時間検索]**ボタンを押すと、時間検索テーブルが表示されます。
データは色で分けられます。: イベント(赤) > ノーマル (黄)



2. **[+]**ボタンを使い、日→時→分(5分) →分 (1分) 順で検索します。**[-]**ボタンを利用すると、逆順序で検索できます。
マウスではホイールを使い、**[+/-]** 操作ができます。
<ノート> **[Play再生]**ボタンを押すと、データーの最後に移動します。
[早戻し] や **[早送り]** ボタンを押すと次のページに移動します。
3. 全てのチャンネルをレビューするにはスロットで**[決定]**ボタンを押します。(マウス: ダブル・クリック)
4. NVRは16チャンネル・モードで再生します。画面表示モードを変えるにはチャンネル番号やディスプレイ(画面分割)ボタンを押します。

2.2 プレビュー検索(1チャンネル再生)

日付、時、分単位で簡単にプレビュー検索します。

1.  **[時間検索]**ボタンを押すと、時間検索テーブルが表示されます。



2. 方向ボタンで希望するチャンネルを選択します。



3. **[+]**ボタンを使い、日→時→分(5分) →分(1分)順で検索します。**[-]**ボタンを利用すると、逆順序で検索できます。マウスではホイールを使い、**[+/-]** 操作できます。
4. スナップショットをレビューする間、数字ボタンで他チャンネルをレビューします。
5. 方向ボタンでスナップショットに移動し、**[ENTER決定]**ボタンを押します。
6. 選択されたスナップショットから再生します。チャンネル番号やディスプレイ(画面分割)ボタンを押すと、画面表示モードが切り替わります。

2.3 イベント録画検索

時間検索テーブルに録画されたイベント録画データを検索します。



1. 方向ボタンで移動し、イベント種類を選択します。
2. [決定]ボタンを押して設定メニューに入ります。[+/-]ボタンで“イベント録画”を選択します。(初期設定されています。)



2.4 イベントソース検索

イベントソース検索機能を使用すると、アラーム、モーション、ビデオロスのイベントへの記録データを検索することができます。

1. 検索モードで[+/-]ボタンを使い、“イベントソース”を選択します。
イベントソースのアラーム、モーション、ビデオロスより検索したい項目を選択します。



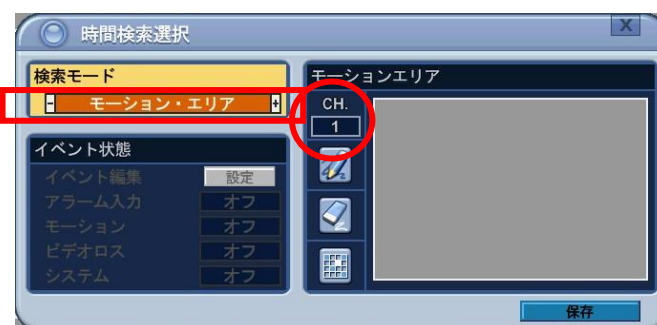
- 1) アラーム入力：1～4のアラーム入力を選択します。
 - 2) モーション：1～16チャンネルより選択します。
 - 3) ビデオロス：1～16チャンネルより選択します。
 - 4) システム：非活性化されています。
2.  アイコンを押す事によりマルチプル・イベント編集が可能です。



2.5 モーション・エリア検索 (1チャンネル再生)

指定したエリアで検知された録画データを検索します。

1. チャンネル内の特定領域のデータを検索するには” モーション・エリア” を選択します。



2. 検索したいチャンネルを選択し、[+/-]ボタンを押します。
3. 検索するモーションエリアを選択します。



：全て選択



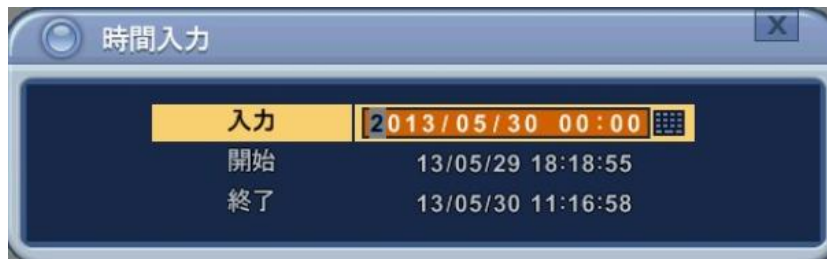
：全て削除



：特定範囲を選択

4. MENUボタンを押し、次にタイムサーチチャートはそのチャンネルに何が起こったか赤色で記録データを表示します。

3. 簡単検索



1. [時間検索] ボタンを 2 秒間押し続けます。[時間入力] メニューがポップアップされます。
2. 希望する日時を入力します。
3. [決定] ボタンまたは[メニュー] ボタンを押し、検索を開始します。

4. ログリスト検索

ログリストから録画データを直接検索、レビューできます。アラーム、モーション、ビデオロス、システム関連ログなどを直接選択します。

1. イベント検索を開始するためにメイン画面の  を選択すると、
下のようにログリストが表示されます。



メニュー・タブ	リスト
オール	● 電源が入ったときからの全てのイベントログリスト
システム	● 全てのシステム関連ログリスト
ネットワーク	● ネットワーク関連ログリスト
イベント	● アラーム、モーション、ビデオロス、システム以外のイベントログリスト
ビデオロス	● ビデオロスのリスト

2. 上下[▼▲]ボタンで再生する項目を選択します。左右[◀▶]ボタンで次のページに移動します。
3. **[決定]**ボタンを押し、再生します。

<ノート> ログリストはHDDに保存されています。

IX. バックアップ

1. 手動バックアップ

1.1 外付けUSB HDD / メモリスティック

外付けUSB-HDDおよびUSBスティックは、NVRのUSBポートにUSB接続ケーブルを接続した後、10秒以内に認識されます。



1.2 バックアップ範囲の設定

時間検索ボタンで表示されるカレンダーで、[◀]ボタン:バックアップ開始時刻、[▶]ボタン:終了時刻を選択します。選択されたバックアップ範囲は紫色に変わります。



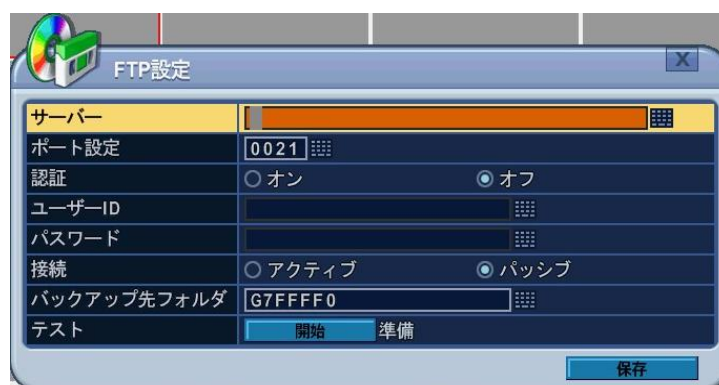
バックアップボタンを押すと選択されたバックアップ時間帯がバックアップ範囲に表示されます。

2. 自動バックアップ

1. デバイス : [- +]ボタンでFTPを選択します。



2. 方向ボタンを使い、FTP設定ボタンへ移動します。



項目	リスト
サーバー	FTPサーバを選択し、数字ボタンでFTPサーバーを指定します。
ポート設定	FTPサーバが通信するポートを設定します。
ユーザー ID	FTPサーバのユーザーIDを入力します。 (大文字で表現されますが、小文字で認識されます。)
パスワード	パスワードを入力します。 (全て小文字で認識されます。大文字はサポートしていません。)
接続	接続モードを選択します。
バックアップ 先フォルダ	経路はバックアップ前, FTPサーバーに指定してください。多数のNVRが一つの FTPサーバーを利用するときのために、Macアドレスが初期設定されています。

3. ログリストバックアップ

1. USBメモリーをUSBポートへ差し込みます。
2. メイン画面で  アイコンを選択し、リストを確認します。



3. ログリストで“バックアップ”ボタンを押すと、USBメモリーへデータが保存されます。
 - 1) デバイス：[決定] ボタンでデバイスを選択します。
 - 2) 種類：バックアップするデータの種類を決めます。
 - 3) 期間：バックアップするデータの範囲を指定します。
 - 4) 動作：[+] ボタンを押し、バックアップを開始します。



X. 仕様

形式	NSPV7008	NSPV7016
システム		
OS	エンベデッド Linux	
ライブ処理性能	4K: 3840*2160 4ch realtime	
	4MP: 2688*1520 8ch realtime	
	3MP: 2304*1296 11ch realtime	
	2MP: 1920*1080 16ch realtime	
映像入力	8ch P.o.E	16ch P.o.E
映像出力	HDMI2.0x1(up to 4K), VGAx1 (1920 x 1080)	
オーディオ	入力: 8(IP), 1(RCA)	入力: 16(IP), 1(RCA)
	出力: 1(RCA)	出力: 1(RCA)
入力映像解像度	8MP(4K), 5MP, 4MP, 3MP, 2MP(1080P), 1.0MP(720P)	
I/O	RS485、入力 x8、出力 x1	RS485、入力 x16、出力 x1
USB 端子	前面×1(2.0)、背面×2(3.0, 2.0)	
録画		
映像圧縮方式	H.265/H.264	
録画	最大 60Mbps	
RAID レベル	RAID1(一部仕様に制限がかかります)	
録画モード	ノーマル, スケジュール, モーション, アラーム	
アラーム録画	プリアラーム: 1〜5 秒, ポストアラーム: 5〜300 秒	
OSD		
表示パターン	全画面, 4 分割, 9 分割, 不均等分割 (6/7/8)	全画面, 4 分割, 9 分割, 16 分割, 不均等分割 (6/7/8/10/13)
デジタルズーム	最大 8 倍	
再生		
再生検索モード	時間検索、イベント検索(アラーム、モーション、ビデオロス、モーションエリア)	
再生コントロール	再生/逆再生, 早送り/早戻し(×2, ×4, ×8, ×16), 一時停止, コマ送り/コマ戻し ※RAID1 使用時、一部の機能は使用できません。	
保存/バックアップ		
内蔵 HDD 容量	2 TB (オプションにて最大 24TB まで増設可能)	
内蔵 HDD	3.5 インチ x 4	
バックアップデバイス	USB メモリ, 外付け HDD, ネットワーク	
外部ストレージ	eSATA×1	

ネットワーク		
LAN 伝送速度	10/100/1000 Base-T	
ネットワークプロトコル	TCP/IP, SMTP, DHCP, DDNS, UPnP, NTP, FTP	
リモートクライアント	PC クライアント：専用ソフトウェア（EMS2：Windows），ブラウザ モバイルクライアント：iOS, Android（mobileCMS）	
最大リモートログイン数	10	
その他		
コントローラー	前面タッチパネル，マウス，赤外線リモコン	
電源	SMPS 100～240V 5A	SMPS 100～240V 5A
最大消費電力	最大 88W	最大 129W
動作可能周囲環境	5～40 度，30～80％	
外形寸法	380(幅) X 66（高） x 328(奥) mm	
重量	4.12kg	4.16kg